



今動くと差がつく! 脱炭素経営で選ばれる企業へ!

佐賀県

なぜ今、脱炭素経営?

2050年のカーボンニュートラル実現に向け、脱炭素への取り組みは企業規模を問わず不可欠になっています。環境配慮と持続的な企業成長を両立する「脱炭素経営」は、コスト削減やブランド価値向上、人材確保にもつながるほか、一部業界では取り引き先からの要請も強まるなど、今や経営戦略の重要な柱と言えます。

脱炭素経営に取り組むべき背景



実践されている企業の取り組み紹介

有限会社 旅館あけぼの

137年の歴史を未来へつなぐために、脱炭素化を志して進める。コストや設備のゆとりを、おもてなしの向上とスタッフの業務負担の軽減へつなげていきます。

脱炭素で、おもてなしをより豊かに、快適に。

排出量を算定し、課題を整理。エネルギー使用状況を整理し、CO2排出量を算定することで、省エネポイントや空調設備などコストや設備ゆとりを整理し、課題が見えてきました。

快適性を保ちながら、無理のない削減へ。空調設備を新築し、補助金を活用しながら、空調の入れ替えや運用も見直し、心地よさの向上につながる省エネに取り組んでいます。

株式会社 224

約400年続く吉田焼の伝統を受け継ぎながら、資源やエネルギーの無駄を削減し、素材づくりから脱炭素化に挑んでいます。

焼き物の脱炭素化を、代表吉田焼が。

約400年続く吉田焼の伝統を受け継ぎながら、資源やエネルギーの無駄を削減し、素材づくりから脱炭素化に挑んでいます。

有限会社 旅館あけぼの

「不良」という考え方を、閉い直す。不良とされる「ぼろや黒い皿を「ぼろ」として入れ、器の個性として活かす試みからスタート。しかし、それだけでは、廃棄や無駄の構造は変わらない。根本から向き合う必要があると感じました。

素材から見直し、根本的な削減へ。そこで取り組んだのが、新たな陶土の開発です。強度を高めるが、焼成工程の省略を可能にし、不良品率を大幅に抑えることができました。その結果、エネルギーの無駄を省き、CO2排出量を約40%削減しています。

脱炭素が生んだ、新しい価値。新陶土から生まれた器は、実用性を兼ねたデザインの実しさに加え、資源を無駄にしないという考え方も含めて「デザイン」として評価され、SAGA DESIGN AWARD 2023の大会とともに、グッドデザイン賞の上位受賞も果たしました。

株式会社 224

「開発した素材や技術を産地全体で共有し、若い手が挑戦できる環境をつくりたい。」

約400年続く吉田焼を、次の時代へつなぐために、224は、業界界に先駆けて、脱炭素への挑戦を続けています。

焼き物の脱炭素化を、代表吉田焼が。

約400年続く吉田焼の伝統を受け継ぎながら、資源やエネルギーの無駄を削減し、素材づくりから脱炭素化に挑んでいます。

脱炭素経営の基本ステップ

詳しい解説や、県内企業の取り組みインタビューは二次元コードから!



モデル企業14社のリアルな声チェック

脱炭素経営は、今や企業の成長戦略に欠かせない取り組みです。佐賀県では令和5年度からモデル企業の創出に取り組み、補助金や伴走支援で挑戦をサポートしています。※各企業の取り組み内容の詳細はSAGAネットゼロ・コンソーシアムホームページ(右上の二次元コード)からチェックできます。

- 大栄工業株式会社** (プラスチック製造)

「エコな未来を成形する。」

自動車業界全体で脱炭素経営に取組んでいます。サプライチェーンの一角を担うことで、スローダウンである「お家増し」を必要とされる。社会に必要とされる企業を、目指して脱炭素経営の取り組みを進めています。
- 田中鉄工株式会社** (アスファルトフラットメーカー)

「地産地消エネルギーで脱炭素に貢献。」

地域の産物産品をリサイクルし、含炭素削減の推進役として貢献しています。CO2削減を推進し、GXチームを構築しました。CO2削減、省資源、省エネルギーを推進し、地域活性化に貢献しています。
- 株式会社 徳永製茶** (徳野茶製造)

「うらしい明日を、徳野から世界へ。」

歴史的な脱炭素の取り組みの成果として、2024年度のCO2排出量は2021年度比で約7%削減されました。削減率を伸ばすための取り組みは、環境部賞(省エネ)を受賞し、成果を世界に発信しながら、持続可能な社会の実現に努力を続けています。
- 株式会社 中野建設**

「地域のために、地球のために、一歩先を行く建設業。」

建設業で初めて、脱炭素経営の取組を開始し、2021年度からCO2削減を推進し、2022年度はCO2削減率を約10%向上させました。脱炭素経営への取り組みは、地域活性化に貢献しています。
- 株式会社 馬渡商会** (コンクリート製造)

「Sustainable Future」

CO2削減の取り組みにより、環境の方向性を共有し、自己満足な取り組みや企業間連携の取り組みは、社会の発展に貢献する取り組みを進めています。
- 株式会社 ミズマチ** (印刷業)

「人と空、水と大地を大切にしたい。」

最先端最先端の技術を受け、脱炭素経営の取組を進めています。CO2削減の取り組みは、環境の方向性を共有し、自己満足な取り組みや企業間連携の取り組みは、社会の発展に貢献する取り組みを進めています。

補助金情報はこちらから!

SAGAネットゼロ・コンソーシアム

産官金の連携で、県内企業を地域ぐるみでサポート。ホームページでは、脱炭素経営の進め方や県内企業の取り組み事例、最新の補助金情報などを紹介しています。



新たに取組む県内企業が続々と増加中!

県主催のワークショップや補助金制度を活用し、脱炭素経営にチャレンジする企業の輪が広がっています。令和7年度はCO2排出量の算定や削減計画の策定に新たに取り組んだ企業が50社を超えました!



まずは無料セミナーで「知る」ことから!

脱炭素経営セミナー & 産学官大交流会(CIREn) 参加者募集中!

日程 令和8年1月20日(火) 15:00~(受付開始14:30)
会場 ホテルニューオータニ佐賀 2階「鶴の巣」 佐賀市舟町1-2
定員 80名(会場・先着順)
※オンライン同時開催(Zoom)も併せて開催予定です。詳細は、開催前に参加URLをお送りします。

参加費 無料

- 脱炭素経営セミナー** 15:00~16:30 ※オンライン同時開催
 - 基調講演 「脱炭素経営の進め方」
 - 事例発表① 「既存建物のZEB改修による脱炭素化」
 - 事例発表② 「新しい伝統産業「お茶」をカーボンニュートラルに」
 - 佐賀県からの取り組み紹介
- 産学官大交流会(CIREn)** 16:30~17:30 ※会場参加のみ
 - ポスターセッション・情報交換・交流
- 立食懇話会** 17:30~18:30 ※会場参加のみ
 - 軽食とドリンクサービスをご用意しております(参加費無料)

申込方法



【お問い合わせ】 佐賀県産業グリーン化推進グループ TEL:0952-257380 MAIL:sangyou-green.pref.saga.jp

【参加者募集】

- 山口 真知氏
- 原田 烈氏
- 徳永 和久氏

- 脱炭素経営の進め方**
中小企業が脱炭素経営を推進するための基本的な流れや考え方、専門アドバイザーがわかりやすく解説します。
- 既存建物のZEB改修による脱炭素化**
事業所の既存建物ZEB改修し、省エネと再生エネルギーを導入することで実現する脱炭素化のポイントを、事例を交えて紹介します。
- 徳野の伝統産業「お茶」をカーボンニュートラルに**
徳野茶の生産現場で進むカーボンニュートラルへの挑戦について、伝統産業の魅力とともに、その取り組み内容を紹介いたします。

産学官交流会も同時開催!

産学官交流会(CIREn) 当日、ポスターセッションをされる佐賀大学の先生方

【企業様への参加を大募集中!】
【お問い合わせ】 CIREn@ciren.jp

再生可能エネルギー等イノベーション共創プラットフォーム「CIREn」

佐賀県は、企業、研究機関、大学等の交流を通じたオープンイノベーションによる研究開発を推進しています。

非開場紹介

- 導入から運用へ、そして次のステージへ ~SAGAサンライズパーク~
- 課題を超えて実用化へ!! ~温泉温度発電(StEC)~

SAGAサンライズパークで進める再生可能エネルギーの高効率化

産学官連携で進める新たな再生可能エネルギーシステムの開発

SAGAサンライズパークは、県内最大規模の地中熱利用設備を導入するとともに、洋風利用設備や太陽光発電、太陽熱利用設備も併設し、複合的に再生エネルギーを活用しています。再生可能エネルギーを推進し、効率化を追求しています。